

明日へ

2020.11.13 (金) No.10



能都中祭 を終えて



11月7日(土)、能都中祭が行われ、「Culture Revolution 百花繚乱 一致団結」のスローガンの下、全校生徒が文化的活動の成果を発表しました。学級・学年・個人の個性が輝きました！

振り返りの文章を紹介します。

【2組合唱】



「能都中祭を振り返って」

今年の能都中祭はコロナの影響で去年通りにはいかなかったけれども、とても楽しい文化祭になったなと思いました。準備では、意見体験発表を任せられたので、しっかりとした情報などを集めて良いものができたなと思いました。本番では少し失敗してしまったけれど落ち着いてできたので良かったです。壁画ではほとんど手伝えなくてどんなのができたかな？と思って見たらとても良い作品ができていて驚きました。合唱では練習で始めは上手くいかなかったけど、練習していくごとに上手くなっているような気がしました。本番は緊張しました。来年で文化祭も最後になるのでこれまで一番楽しい文化祭にしたいと思います。

【2組 西海能仁】

能都中祭を振り返って、2つがんばれたことがありました。まず1つめは、合唱です。初め青い鳥を歌うことが決まり、楽譜をもらった時、私がすることになったアルトは主旋律と音程がまったく違っていたりハモるところで少しづれて重ねたり、本番までに覚えられるのかと心配だったけど、本番が近づくにつれ徐々にきれいにハモったりできるようになって能都中祭では私の中で1番の出来でした。最優勝、優秀には入れませんでしたが、2年2組はがんばって練習してきたで賞、1番だと思います。2つめは壁画です。これも初めは1番進んでいくすぐに仕上げられると思っていたけどだんだん周りと変わらないくらいのスピードになっ

てきて、あせってしまったりもしたけど、やっている時、1組の人たちと会話したりしながら楽しく作成することができました。グラデーションも上手く出来ていて昨年よりもレベルが上がって賞も取れるかもしれないと思うほど上出来でした。今年の能都中祭はみんなが団結し、協力し合うことが出来ました。来年は3年生として2年生みんなで盛り上げていきたいです。

【2組 大平葵】

能都中祭をふり返ってまず思うことは、生徒会はあんなにも大変なんだなと感じました。去年の生徒会の人たちを見ていると、そんなに大変そうではなかったし、自分たちにもできるだろうと思ったけど、いざやってみると本当に大変で今までの生徒会の人たちは表に大変さを出さず、仕事をしていたのかなと感じました。また、その大変さはやってみないとわからないなと思いました。

次に、合唱コンクールで優秀賞を取れたのが本当にうれしかったです。最初はあまり声も出ず、練習していたけど、中間発表を機に本気で取り組もうという気持ちが出てきて、パートリーダーを中心に練習して、合唱ってこんなに楽しいんだと思いました。また、この合唱練習で得た団結力、また、2年2組の「やるときはやる」という気持ちを今後もどこかで出せたらいいなと思いました。

最後に、能都中祭を成功させてよかったです。

【1組 中町來未】

私は能都中祭で特にがんばったことが2つあります。1つ目は壁画です。今年のテーマは「結」で、少し難しく本当にこの短い時間でできるのかなあと不安がありました。でも壁画リーダーではなくてもいっしょに手伝ってくれる人もいて、「自分もがんばらないと・・・」と前向きになれました。そして、みんなが協力してくれたおかげで無事完成できてうれしかったです。壁画リーダーをしてみて大変だったけど、してよかったです。2つ目は合唱です。最初は私もなかなか声が出ず、不安でした。でも練習していくたびにみんなの声が出るようになって、能都中祭の前の日に校長先生から「すごく声が出てたよ」と言われてすごくうれしかったです。そして能都中祭では、最初は緊張していたけど歌っているとき緊張が解け、すごく楽しく歌えました。結果、優秀賞だったのですごくうれしかったです。来年は、今年よりも大きな声を出して最優秀賞をとりたいです。

【1組 浦下心優】



【1組合唱】